

## 倫理小委員会設置の背景

技術倫理は、法令や規制を順守しない不祥事が明るみに出るたびに、問題視されます。最近では、多機能性細胞に関する論文捏造、電機会社の粉飾決算、建設会社による杭打ちや地盤改良の不正、自動車会社による燃費性能の偽装報告などがありました。一方、技術士会活動に目を転じますと、倫理問題に対しは、中部本部や中国本部は比較的早くから活発に研究や内外に向けた啓発活動が行われています。

これに対して九州本部では、技術士試験合格者に対する講演やCPD研修会で講演が実施されています。また県支部単位では、大学や高専に対して授業を受け持つなどの実績が報告されています。

このような実情から、九州本部においても技術倫理に対する人や組織のあり方を明確にしておく必要があるとの方針から倫理小委員会が設置され、ここではより組織的な活動が行える体制の整備が目指されました。

## 倫理小委員会の構成委員

本委員会は下記のメンバーで構成され、当面は研修委員会の中に置かれた小委員会として活動を始めます。

委員長	：西井康浩（北九州）
顧問	：伊藤整一（福岡）
副委員長	：井内祥人（鹿児島）
同	：小柳嗣雄（北九州）
委員	：末松正典（北九州）
同	：下津義博（宮崎）
同	：堀田源治（北九州）
同	：稲垣浩通（福岡）
同	：藤橋健次（佐賀）

## 倫理小委員会の活動方針

- ① 九州本部が企画する技術者倫理に関する活動を担当
- ② CPD 研修や県支部から技術者倫理に関する講演依頼があった場合の担当
- ③ 九州管内の大学や高専から技術者倫理教育の委託相談を受けた場合の受け皿
- ④ 官庁や企業から技術者倫理に関する説明会開催や講演の依頼を受けた場合の受け皿
- ⑤ 統括本部ならびに他本部の倫理機関とのネットワークづくり

## 倫理小委員会の活動内容

- ① 既往関連文献（専門書や論文など）の調査
  - 有用かつ適切な文献を紹介し、倫理観を共有
- ② 統括本部・倫理委員会作成の出版物の解説
  - 「技術士の倫理（技術者倫理の体系的モデル構築）」
- ③ 技術士倫理綱領の研究と理解
  - 「技術士倫理綱領」平成 23 年 3 月 17 日理事会変更
  - 「技術士倫理綱領の解説」平成 23 年 5 月 10 日倫理委員会
  - 「倫理綱領改定案に関する意見と回答」同上
- ④ 九州本部版オムニバス形式のテキスト作成
  - 各委員が、専門領域・得意分野・興味対象から倫理問題を抽出
  - 多面的な問題点（例えば、技術者倫理、企業倫理、研究者倫理などの人や組織、さらに生命倫理、環境倫理、情報倫理、リスク倫理などの事象など）を対象
  - 各問題点について、倫理観をレジュメとして解説
  - 九州管内で発生した倫理問題について事例報告と分析
- ⑤ 倫理問題経験者の情報交換と知識知の共有
  - 講演や授業の実績に関する情報開示
- ⑥ 統括本部の倫理委員会との技術レベルの担保
  - 例えば、倫理セミナーの WEB 学習などを紹介

## 倫理小委員会に求められる成果

- ① 大学や高专での倫理教育の受け皿
  - 委員の技術者（士）倫理に関する力量（スキル）を担保した上での講師派遣
- ② 九州本部会員への啓発と講義
  - 九州本部独自の倫理規定（書）の策定と CPD 講演
  - 論文発表会等へ研究（検討）成果をペーパー投稿
- ③ 統括本部・他本部の倫理機関とのネットワークづくり
  - 全国大会専門部会への参加
  - 先行する統括本部や他地区の本部との情報交換やヒアリング
- ④ 大学や高专の倫理教育者（担当者）との連携
  - “学”とのネットワーク強化
  - 九州本部のアウトリーチ活動としての活性化
  - JABEE 対応